

## 大多喜城とご城下散策

7月14日(土)、大多喜城と“房総の小江戸”大多喜の町並み散策に行ってきました。

最初の目的地は、大多喜城(千葉県立中央博物館大多喜城分館)。……だったのですが、事前に確認した情報によると、館内の水道設備故障の為に当分の間休館とのことで、14日までに工事が終わって再開されることを期待していましたが、残念ながらそれはかないませんでした。でも緑豊かなお城の周辺は散策が出来ました。

一行はこの後、お昼を食べに「道の駅たけゆらの里おおたき」へ行き、一部の人を除いて「猪好御膳」〈いのすきごぜん〉(大多喜で捕獲したイノシシ肉をすきやき風に味付けし、ご飯に乗せたジビエ料理)を食べました。



▲これから楽しいお食事タイム▲

▲猪好御膳

午後は、城下町の散策をしました。佐原や川崎市、栃木市ほど大規模ではありませんが、城下町通り沿いには古い商家や民家が立ち並んでいて、江戸時代、大多喜が城下町として、またこの地域の物資の集散地として栄えていたことを感じることができました。最後に、大多喜の推奨みやげ品のひとつにもなっている「上総大多喜城最中 十万石」を購入するため、御菓子司 津知家へ立ち寄りしました。



▲大多喜駅前の観光本陣



▲銚子信金大多喜支店も町並みと調和





▲渡辺家住宅 (国指定重要文化財)



▲伊勢幸 (国登録有形文化財)



▲十萬石最中を爆買い中!?



▲奈美喜邸



▲豊乃鶴酒造 (国登録有形文化財)



本多忠勝

おたつきー



## 障害者雇用検討企業 来所

7月27日(金)、障害者雇用を行う予定の企業向け見学会(主催・千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会)が行われ、企業関係者12名と東総就業センター職員4名が来所されました。

今回の見学会は、①障害者が訓練する姿を見学することで、障害者雇用のイメージを作る。②障害者の就労支援担当者との意見交換により、障害者への配慮事項等を相談することで障害者雇用への取組を促進する。を目的として実施されました。

見学会では、まず事前に録画したパン製造の様子を見ながら職員の田村さんが各作業について説明しました。続いて、就労移行のYさんが、現在の作業内容や今後について話しをしました。

\*\*\*\*\*

### ◆Yさんのお話し(抜粋)

今私はパンの分割を担当しています。分割は速さが求められる仕事なので、しっかりと間違えないように取り組んでいます。慣れない時は不安や緊張をしましたが、現在は慣れて出来る部分が増えました。

私は就職を目指しています。しかし、仕事を覚えるのはとても時間がかかります。そうした時、職員のアドバイスをもらって努力します。その頑張りの成果が今に至っていると感じます。

自分も含め、当事者の方々が本当に辛く大変な想いをかかえながら一生懸命頑張っている姿を、皆さんにわかっていたいただければ有難いと思っています。



### ～編集後記～

今年は6月中に梅雨が明けてしまった上に、その後は猛暑の日々が続き、7月23日には埼玉県の熊谷市で41.1℃を観測して、国内の最高気温を更新しました。この日、銚子も33.5℃まで気温が上がりました。もしかして銚子も最高気温の記録を更新したかと思いついて調べてみた所、過去にはもっと高い気温の日がありました。第1位は35.3℃(昭和37年8月4日)、第2位は35.2℃(平成16年8月20日)、第3位は35.0℃(昭和53年8月24日)でした。第10位でも34.2℃ですから33.5℃はトップ10にも入らない気温でした。今年は暑いと言っても内陸部から比べれば銚子は過ごし易い場所だということ改めて感じます。ちなみに、銚子の最低気温の記録は、明治26年2月13日に観測した-7.3℃でした。